

知り合う

クリスチャンのメンターを、何処に行って探しますか？まずどんな場所を調べますか？刑務所にも行って探しますか？それは、なぜですか？

聖句 - エペソ人への手紙 4:1-6（聖書協会共同訳）

文脈：最初の3章で、パウロは神がクリスチャンにしてくださったことについて述べています。この手紙の後半では、クリスチャンがどのように生きるべきかを説明しています。

1 ですから、主の囚人である私は、あなたがたに勧めます。招かれたあなたがたは、その招きにふさわしく歩み、2 謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、3 平和の絆で結ばれて霊による一致を保つよう熱心に努めなさい。4 体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれたのと同じです。5 主は一人、信仰は一つ、洗礼(バプテスマ)は一つです。6 すべてのものの父なる神は唯一であって、すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのものの内におられます。

(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. パウロの手紙の読み手が受けた「招き」とは何ですか？(1節)
   a. なぜ彼らは、「ふさわしい歩み」をしなければならないのでしょうか？
   b. 実際に「歩む」とはどういうことですか？：
      1. 謙遜と柔和をもって「歩む」とは？
      2. 忍耐をもって「歩む」とは？
      3. 愛をもって互いに忍耐するとは？
      4. 平和のきずなによって御霊の一致を保つためにあらゆる努力をするとは？

2. パウロの手紙の読み手が召されている唯一の希望とは何ですか？ (4節,エペソ 1:18-19)
   a. パウロは4-6節で「一つ」という言葉を7回も使っていますが、「一つ」という言葉をこれほど強調することによって、パウロはどのようなことを伝えようとしているのでしょうか？ (3節)

適応: どのような聖句や聖書の模範が、あなたの召命にふさわしい歩みをする原動力となりますか？

ディスカッション:
パウロは自身が「主の囚人」であることを読み手に伝えています。（エペソ 3:1; 1 節）彼の「歩み」はどのような歩みなのでしょうか？なぜ、そのことを伝える事は大切なことなのですか？今を生きる私たちにとっても重要ですか？

シェア

「ふさわしい歩み」に失敗した経験はありますか？

そのようなときをどのように切り抜けましたか。他の人の励みになるような、神の恵みの体験を分かち合ってください。

成長

賛美と具体的な祈りの課題を分かち合うことによって、互いに仕えましょう。

- 招きにふさわしく、御霊によって歩むことが出来るように祈りましょう。
- 神の恵み深さを理解出来るように祈りましょう。